

教科	国語	履修学年	第2学年	指導時間	140 単位時間	担当者	鳥谷 尚正
使用教科書	新しい国語2 (東京書籍) 中学書写一・二・三年 (光村図書)	補助教材	よくわかる国語の学習2(明治図書), 学習漢字ノート2(浜島書店), 国語便覧(浜島書店)				
目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し, 伝え合う力を高めるとともに, 思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし, 国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。						
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		
趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに, 国語に対する認識を深め, 話したり聞いたり書いたりして考えを広げ, 読書を生活に役立てようとする。	目的や場面に応じ, 立場や考えの違いを踏まえて話したり, 考えを比べながら聞いたり, 相手の立場を尊重して話し合ったりしている。	目的や意図に応じ, 構成を工夫し, 伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書いている。	目的や意図に応じ, 内容や表現の仕方に注意して文章を読み, 知識や体験と関連づけて自分の考えをもっている。	伝統的な言語文化に親しんだり, 言葉の特徴やきまり, 漢字などについて理解し使ったりするとともに, 漢字の行書とそれに調和した仮名を書き, 楷書又は行書を選んで書く。		
評価資料	・授業への取組み ・宿題・提出物 ・ノート ・ワークシート	・定期テスト ・授業への取組み ・発表	・定期テスト ・課題テスト ・ノート ・ワークシート・作品	・定期テスト ・課題テスト ・ノート ・ワークシート	・定期テスト ・課題テスト, 小テスト ・作品		
指導計画							
月	単元又は題材	時数	学習内容	指導事項	評価の観点及び評価規準		
4	木とともに 人とともに 伝えたいと思うから 短歌を楽しむ 短歌のリズムで表現しよう 共通語と方言	11	・詩に込められた心情を捉え, 読み方を工夫して音読する。 ・心情を表すさまざまな言葉に注意して, 筆者の主張を捉える。 ・情景や心情を表す語句に注意して, 短歌を詠み味わう。 ・担架の表現の工夫などを捉えて, 鑑賞したことをまとめる。 ・自然や体験の描き方を工夫して, 短歌を作る。 ・共通語と方言の役割について理解する。 ・短歌の種類や使い方について理解する。	C(1)ア C(1)イ C(1)ウ B(1)ウ 伝・国 イ (ア)	国語への関心・意欲・態度	・音読や朗読をする文章の内容や表現に関心を持ち, 工夫して読もうとしている。 ・リズムを意識しながら, 短歌を作ろうとしている。	
5	短歌 書写	4	・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して, 作品を読み味わう。 ・登場人物のものの見方や考え方について, 自分の考えを持つ。 ・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して, 作品を読み味わう。 ・登場人物のものの見方や考え方について, 自分の考えを持つ。 ・形の似た漢字に注意する。 ・用言の活用形の種類や, 活用の仕方について理解する。 ・問題意識を持って相手の話を聞き, 自分の考えと比較する。	イ 伝・国 イ (ア) C(1)イ C(1)エ C(1)イ C(1)エ 伝・国 ウ (ア) 伝・国 イ (エ) A(1)エ	話す・聞く能力	・事実と考えとを聞き分けるとともに, 問題意識を持って相手の考えと根拠を吟味し, 自分の考えと比較している。	
	字のない葉書 卒業ホームラン 形の似た漢字 用言の活用 聞き取って吟味しよう 書写 行書を書こう	12			書く能力	・短歌のリズムを意識しながら, 自然や体験の描き方を工夫して, 短歌を作っている。	
	中間試験	2	言語活動 ・A(2)ア: 分かったことや考えたことを発表する。 ・B(2)ア: 表現の工夫をし詩歌を書く。 ・C(2)ア: 詩歌などを読み, 感想を交流する。		読む能力	・詩に描かれた情景や心情を捉え, どんな言葉にどんな気持ちを含めて読んだらよいかを考えて音読している。 ・心情を表すさまざまな言葉に注意して, 「呼び言」の体験に基づく筆者の主張を捉えている。 ・短歌という形式の特徴を理解するとともに, 鑑賞文中の三首や「短歌五首」の内容を捉え, 音読・暗唱して読み味わっている。 ・「短歌五首」から一首を選び, 読み取ったことや想像したこと, 表現の工夫など, 鑑賞したことをまとめている。 ・言葉遣いや行動・態度に注意して, 父の思いを捉えている。 ・父のことを振り返っている「私」の思いについて, 考えたことを挙げています。 ・人物の発言や言葉遣い, 行動・態度に注意して, 徹夫や晋, 典子の思いを捉えている。	
		1			言語についての知識・理解・技能	・共通語と方言の違いや, それぞれの役割について理解している。 ・尊敬語・謙譲語・丁寧語という敬語の種類や, それらの使い方について理解している。 ・部首の違いなど, 形の似た漢字について理解している。 ・用言の六種類の活用形や, 活用の仕方について理解している。	
6	食の世界遺産一鰯節 類義語・対義語 漢字の意味 調べて考えたことを 伝えよう「言葉」 のレポート 小さな労働者 本で世界を広げよう (人権)	16	・文章全体と部分との関係や, 筆者の書き方の工夫に注意して, 内容を読み取る。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え, 自分の考えを持つ。 ・類義語や対義語について理解する。 ・漢字の意味を理解し, 漢字を使いこなす。 ・ふだんの生活やメディアなどで見聞きすることからテーマを決めて, 調査する。 ・調べて分かった事実や自分の考えが明確に伝わるように, 構成を工夫してレポートを書く。 ・さまざまな情報源からの情報を比べて, まとめる。	C(1)イ C(1)エ 伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)ア B(1)イ C(1)オ	国語への関心・意欲・態度	・テーマに合った調査方法を選び情報を集めようとしている。 ・事実と自分の考えとを区別したり, 調査結果に小見出しを付けたらして, 分かりやすい構成でレポートを書こうとしている。	
7	本の世界を楽しもう 書写 行書と仮名の 調和	4			話す・聞く能力	・深まりの期待できるテーマを設定し, テーマに合った調査方法を選んで情報を集めている。 ・事実と自分の考えとを区別したり, 調査結果に小見出しを付けたらして, 分かりやすい構成でレポートを書いている。	
	期末試験	1	言語活動 ・C(2)イ: 内容について自分の考えを述べる。 ・C(2)ウ: 新聞や学校図書館等を利用して得た情報を比較する。		書く能力	・文章の三つのまとまりを捉えて全体を要約するとともに, 筆者の書き方の工夫について気づいたことを挙げています。 ・具体例を示しながら, 伝統を受け継ぐことの意味について考えたことをまとめている。 ・調べてみたいテーマを決めてさまざまな情報を比較し, まとめている。	
8		1学期小計 (51)			読む能力	・類義語と対義語について理解している。 ・似た意味や反対の意味, 思いがけない意味を持つ漢字について理解し, 使いこなしている。	
9	枕草子 徒然草 平家物語 古典芸能に親しもう 漢詩 多義語 助詞 説得力のある提案を しようプレゼン テーション 書写 楷書と行書 を書こう	19	・古文特有のリズムを味わいながら音読を楽しむ。 ・自然や事物に対する筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・現代語訳を手掛かりにして内容を読み取る。 ・随筆に表れた筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・表現の特徴を生かして朗読し, 読み味わう。 ・場面や状況を読み取り, 当時の武士の生き方や心情について理解を深める。 ・さまざまな古典芸能の一節を朗読し, 古文のリズムを楽しむ。 ・表現の特徴を捉え, 繰り返し朗読して漢詩の世界を楽しむ。 ・それぞれの漢詩に描かれている情景や作者の思いを捉える。	伝・国 ア (ア) 伝・国 ア (イ) 伝・国 ア (イ) 伝・国 ア (イ) 伝・国 ア (ア) 伝・国 ア (イ) 伝・国 ア (ア)	国語への関心・意欲・態度	・古文のリズムを味わいながら音読・暗唱しようとしている。 ・筆者の季節に対する感じ方や, 表現上の特徴を捉えようとしている。 ・提案理由を説得力のあるものに練りあげるとともに, 質問や意見を予想し, 答えの示し方を工夫しようとしている。	
		2			話す・聞く能力	・提案理由を説得力のあるものに練りあげるとともに, 質問や意見を予想し, 答えの示し方を工夫している。 ・グラフや表, 写真などを取り入れて資料を作成し, 機器を活用したり資料提示のタイミングを工夫したりしている。	
					書く能力		
					読む能力		

月	単元又は題材	時数	学習内容	指導事項	評価の観点及び評価規準
10	落葉松 恥ずかしい話 同訓異字 助動詞 反対意見を想定して 書く一意見文 書写 行書と仮名の 配置 中間試験	15	<ul style="list-style-type: none"> 多義語について理解する。 助詞の種類や働きについて理解する。 聞き手の立場や考えを想定し、説得力のある話を組み立てる。 資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話す。 	ア (ア) 伝・国 ア (イ) 伝・国 イ (イ) 伝・国 イ (エ) A(1)イ A(1)ウ	言語についての知識理解・技能 <ul style="list-style-type: none"> 古文のリズムを味わいながら音読・暗唱している。 筆者の季節に対する感じ方や、表現上の特徴を捉えている。 作品中に描かれた人物の気持ちを捉えている。 描かれた人物に対する筆者の考えを捉えるとともに、その人物の人物像を想像している。 助詞を付けない表現や、七五調、対句、擬音語など、表現の特徴に注意して朗読している。 与一の置かれた状況や気持ちを捉えるとともに、当時の武士の生き方について読み取り、考えたことをまとめている。 能や浄瑠璃、歌舞伎の節を朗読し、古文のリズムに慣れ親しんでいる。 漢詩の形式を理解し、対句などの特徴的な表現に注意して朗読・暗唱している。 描かれている風景や作者の心情を捉えるとともに、自然を表す表現の効果について気づいたことを挙げている。 多義語や同音異義語について理解している。 四種類の助動詞があることを知り、それぞれの働きについて理解している。
			<ul style="list-style-type: none"> 詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。 抽象的な語句に注意して読む。 筆者の論の進め方の工夫を捉える。 筆者の考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。 	C(1)ア C(1)ア C(1)ウ C(1)エ 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ)	国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場(主張)を明確にし、「主張」「根拠」「反対の主張への反論」「まとめ」の順で書くなど、分かりやすい構成で書こうとしている。 詩に描かれた情景や心情を捉え、五七調の文語詩のリズムを感じ取りながら朗読しようとしている。
			<ul style="list-style-type: none"> 同訓異字を使い分ける。 助動詞の種類や意味について理解する。 自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。 意見が効果的に伝わるように、根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んだりする。 	伝・国 イ (エ) B(1)イ B(1)ウ	話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> 自分の立場(主張)を明確にし、「主張」「根拠」「反対の主張への反論」「まとめ」の順で書くなど、分かりやすい構成で書いている。 自分の主張に説得力を持たせるために、根拠を具体的に記述したり、他の立場への的確な反論を盛り込んだりしている。
			<ul style="list-style-type: none"> 同訓異字を使い分ける。 助動詞の種類や意味について理解する。 自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。 意見が効果的に伝わるように、根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んだりする。 	伝・国 イ (エ) B(1)イ B(1)ウ	読む能力 <ul style="list-style-type: none"> 詩に描かれた情景や心情を捉え、五七調の文語詩のリズムを感じ取りながら朗読している。 「共感」など抽象的な語句の文脈上の意味を捉えている。 段階を踏んで結論を導く文章構成を捉えるとともに、論の進め方の工夫について気づいたことを挙げている。 自分の知識や体験と関連付けながら、筆者の考えに納得できる部分、できない部分を挙げている。
11	走れメロス 話し言葉と書き言葉 同音異義語 依頼状やお礼状を書く 神奈川沖浪裏 本で世界を広げよう (日本文化) 書写 生活に広げよう 期末試験	13	<ul style="list-style-type: none"> 人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 同音異義語を使い分ける。 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 相手や目的にふさわしい文章の形式について理解する。 複数の本を読んで、比べながら考えをまとめ、紹介をする。 	C(1)イ C(1)ウ 伝・国 イ (ア) 伝・国 イ (オ) 伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)エ 伝・国 イ (オ) C(1)オ	国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> 手紙文を読み返し、手紙の形式や、伝える情報の流れ、言葉遣いの適切さなどに注意して推敲しようとしている。 場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、メロスと王の人物像や、考えの変化を捉えようとしている。
			<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 同音異義語を使い分ける。 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 相手や目的にふさわしい文章の形式について理解する。 複数の本を読んで、比べながら考えをまとめ、紹介をする。 	伝・国 イ (オ) 伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)エ 伝・国 イ (オ) C(1)オ	話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> 手紙文を読み返し、手紙の形式や、伝える情報の流れ、言葉遣いの適切さなどに注意して推敲している。
			<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 同音異義語を使い分ける。 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 相手や目的にふさわしい文章の形式について理解する。 複数の本を読んで、比べながら考えをまとめ、紹介をする。 	伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)エ 伝・国 イ (オ) C(1)オ	書く能力 <ul style="list-style-type: none"> 手紙文を読み返し、手紙の形式や、伝える情報の流れ、言葉遣いの適切さなどに注意して推敲している。
			<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 同音異義語を使い分ける。 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 相手や目的にふさわしい文章の形式について理解する。 複数の本を読んで、比べながら考えをまとめ、紹介をする。 	伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)エ 伝・国 イ (オ) C(1)オ	読む能力 <ul style="list-style-type: none"> 場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、メロスと王の人物像や、考えの変化を捉えている。 展開や表現の工夫について、具体的な箇所を指摘しながら、気づいたことや考えたことを挙げていく。 複数の本を読み比べて、考えをブックトークメモにまとめ、紹介をしている。
12	情報検索で開ける世界 新しい常用漢字 曖昧な文・分かりづら い文 話し合いで考えを広 げようーパネルディ スカッション いきいきと描き出そ うー俳句から始まる 物語 わたしが一番きれい だったとき 坊ちゃん 日本の名作を読もう 書写 まとめ 学年末試験	29	<ul style="list-style-type: none"> 情報を得ることについての筆者の考え方を捉え、自分の考えを持つ。 書籍やインターネットを使って情報を集め、それらの情報の特徴について考える。 常用漢字について理解する。 曖昧な文や分かりづら い文になる原因を理解し、分かりやすい文の書き方を知る。 さまざまな情報手段を使って討論のテーマを決め、自分たちの提案をまとめる。 司会者やパネリストの役割を押さえ、目的に沿って話し合う。 風景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 書いた物語を読み合っ て、材料の活用の仕方などについて意見を交換し、自分の考えを広げる。 心情が読み取れる言葉に注意して詩を読む。 詩に表れているもの の見方や考え方について、自分の感想を持つ。 文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。 	C(1)エ C(1)オ 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) 伝・国 イ (ウ) A(1)ア A(1)オ A(2)イ B(1)ウ B(1)オ C(1)ア C(1)エ C(1)エ	国語への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> 多様な情報手段を活用して話題を見つけ、テーマを設定したうえで、根拠を固め、質問や反論を予想して提案をまとめようとしている。 場面の風景をいきいきと、五感に訴えるように描き出すとともに、会話文や行動の描写から人物の心情が伝わってくるように書こうとしている。
			<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 同音異義語について理解し、文脈に応じて使い分けている。 手紙の基本的な形式を知り、丁寧な手紙を出すよい場合について理解している。 	伝・国 イ (オ) 伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)エ 伝・国 イ (オ) C(1)オ	話す・聞く能力 <ul style="list-style-type: none"> 多様な情報手段を活用して話題を見つけ、テーマを設定したうえで、根拠を固め、質問や反論を予想して提案をまとめている。 司会者やパネリストの役割を理解し、話し合いが深まるように発言するとともに、他の意見を聞いて自分の考えを広げようとしている。
			<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 同音異義語について理解し、文脈に応じて使い分けている。 手紙の基本的な形式を知り、丁寧な手紙を出すよい場合について理解している。 	伝・国 イ (オ) 伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)エ 伝・国 イ (オ) C(1)オ	書く能力 <ul style="list-style-type: none"> 場面の風景をいきいきと、五感に訴えるように描き出すとともに、会話文や行動の描写から人物の心情が伝わってくるように書いている。 作品を読み合い、材料にした俳句のかかし方などについて意見を交わしたり、多様な発想や描写の工夫に気づいて考えを広げたりしている。
			<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 同音異義語について理解し、文脈に応じて使い分けている。 手紙の基本的な形式を知り、丁寧な手紙を出すよい場合について理解している。 	伝・国 イ (オ) 伝・国 イ (イ) 伝・国 ウ (ア) 伝・国 ウ (イ) B(1)エ 伝・国 イ (オ) C(1)オ	読む能力 <ul style="list-style-type: none"> 情報収集についての筆者の考え方を捉えようとして、自分の知識や体験も踏まえて考えたことを挙げていく。 書籍やインターネットで集めた情報を比較して、それぞれのメディアの特徴について気づいたことを挙げていく。 それぞれの連の言葉から心情を読み取るとともに、各連で繰り返される言葉に込められた思いを捉えている。 この詩に表れているもの の見方や考え方について、自分の感想を述べていく。 主人公と清の人物像を捉え、感じたことや考えたことを挙げていく。
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、 学習形態等)	(1) 学習形態…学習内容に応じ、一斉、グループ、個別学習を組み合わせます。 (2) 習得・活用…「話す・聞く」「書く」「読む」で身に付けた技術・知識が、日常生活や他教科の場面で活用できるように指導します。 (3) 家庭学習…授業の内容と、家庭学習が結び付くよう、工夫しています。毎日の宿題と、試験後に提出する課題とを分けて出しています。 (4) 言語活動…討論やレポートの言語活動は、教科の力を育む活動です。積極的に取り組むことで、学力も伸ばせるよう単元を考えていきます。			
	学習上の留意点 受講上の注意	○学習漢字ノートや文法ワークを使って、繰り返し学習に使用することにより、基礎的な知識を身につけましょう。 ○授業以外の時間でも積極的に読書に親しんでいきましょう。また、図書室も積極的に利用しましょう。 ○読書のジャンルを広げ、新聞や新書などを通して評論文・論説文などにも親しみましょう。			